

1 目的

本校園芸工学・農業経済科の教科学習においては、地域の特性を生かしたマメ類の栽培や販売実習等を通して、農業に関する学習の専門性を高めてきた。今年度は、通常の販売実習に加え、かごしま国体や鹿児島総文祭などでも販売ブースを出展し、地域や学校・学科、生産物のPR等に努めることができた。また、先進的農家視察研修等を通して、農業への興味・関心及び意識向上を図った。

2 実施状況

(1) 体験入学及び体験学習

中学生に対し、「野菜の収穫」、「コケ玉作り」、「ジャム作り」、「農業機械の操作」の4種類の学習内容を提示し、体験学習を実施した。中学生には専門高校での学習について理解を深めてもらい、農業への興味や関心の向上を図った。



農薬散布用ドローンの説明の様子

(2) 視察研修の実施

ア 農業大学校

概要や施設設備、学習内容について理解を深めることができた。農学部野菜科の説明では、本校卒業生が後輩に向け、進学して良かったことや管理作業における「失敗談」、「成功談」を話し、生徒も農業大学校を身近に感じる事ができた。



農業大学校での視察研修の様子

イ 日本ガスアグリ株式会社（植物工場）

植物工場を稼働した経緯や経営概要の説明、栽培理について見聞することができた。プラントは、空調や照度が全てコントロールされており、タブレット1台でLED（調光）の切り替えも行っていた。今後は、野菜のスプラウト事業にも取り組むとのことで、消費者ニーズを捉えたマーケティングが重要であると実感した。



植物工場で説明を受けている様子

(3) 営農の門出を励ます会の実施

令和5年度の卒業生のうち2名が鹿児島県立農業大学へ進学、1名が農学部のある4年制大学への進学を決めた。今後の地域農業への貢献等を視野にこれら3名の生徒を励ます会を実施するとともに、今後の抱負や目標を発表し励ました。



「営農の門出を励ます会」での記念撮影

3 今後の課題及び取組

本助成の継続的なご支援により、農業大学校や農学部のある四年制大学への進学、農業関連産業への就職が決定した。今後は、各科目において、これまで以上に農業経営やマーケティングを意識した学習内容を検討したいと考えている。